

清流の国ぎふ 防災・減災センター の取り組み紹介

ホームページ

<https://gfbosai.sakura.ne.jp/web/>

Facebookページ

<https://www.facebook.com/gifu.bousai.gensai/>

YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCUJpUvluoHL6MPI9nb9t0XA>

清流の国ぎふ 防災・減災センター設立の背景

- 岐阜県の地域特性
 - 南海トラフ地震や内陸直下型地震の懸念
 - 短期的・局地的豪雨の増加
 - 人口減少・少子高齢化の進展，地域の安全・安心を担う人材の減少
- 地域課題
 - 実践的、多様な防災人材育成研修の実施
 - 県民の防災知識の向上
 - 防災人材育成研修修了者の地域での活躍
 - 県特有の災害への対応
 - 県市町村職員の防災専門知識の向上
 - 企業の防災力強化
 - 災害情報の次世代への伝承
 - 研究結果の社会活用

清流の国ぎふ 防災・減災センター

清流の国ぎふ

岐阜県

- ・ 災害対応ノウハウ・災害情報蓄積
- ・ 市町村指導
- ・ 県民運動等啓発活動

+



岐阜大学

- ・ 高度な教育機能
- ・ 高度な専門知識
- ・ 創造的、先進的調査研究機能

人材育成・普及啓発

防災・減災活動を担う人材の育成やその人材の活用等の仕組みづくり及び啓発活動

技術支援

行政及び企業からの求めに応じた防災・減災活動に対する助言その他技術的支援

調査研究

行政と研究機関が一体となった防災・減災に関する実践的調査研究、社会実験等の調査研究

実践的シンクタンク機能

- ・ 2015年4月1日に設立
- ・ 主な事業は人材育成・普及啓発
- ・ それまで実施していた岐阜県主催の地域向け研修をセンターに移管

コーディネーター



伊藤三枝子 清流の国ぎふ 女性防災士会会長

2017年1月に「清流の国ぎふ女性防災士会」を立ち上げ会長として就任。子ども、障がい者、外国人など要配慮者のための防災活動をはじめとして、家庭や学校などにおいて日常生活の防災力向上を目指し、講演会や研修会などの活動を行っている。地域においては複数の町による避難所運営委員会を設立、合同防災訓練を通じ非常時における協力体制を構築するため一緒に活動している。



岩井慶次 恵那市防災研究会会長・地域防災ネット中部会長

2006年に防災士の資格を取得し、各地で防災の心構えや災害時のノウハウを伝える活動をしている。2012年5月には東日本大震災の貢献が認められ、社会貢献支援財団より表彰されている。恵那市防災研究会会長として防災講座の講師を務めながら地域の自主防災組織の重要性を説く。東濃地方をはじめ、愛知県、長野県の防災団体とともに発足させたネットワーク組織「地域防災ネット中部」の会長を務めている。



岩茸伸一 高山市民防災研究会事務局長

1971年から37年間、高山消防署に勤務。2008年大野分署長で退職。その間、阪神・淡路大震災及び新潟県中越地震を経験。2014年8月、高山市民防災研究会を設立し、事務局長として地域の防災講演や防災組織づくりなどの活動を行っている。2018年度「日本防災士会岐阜支部飛騨ブロック長」就任。各地域、学校等での防災意識の向上と防災組織及び地区防災計画の確立について尽力している。



栗田暢之 特定非営利活動法人レスキューストックヤード代表理事

1995年阪神・淡路大震災で当時勤務していた大学の学生ら延べ1,500人のコーディネートを務め、以降現在までに35箇所を超える自然災害の現場で支援活動を展開している。またその現場での学びを生かし、地域防災力の向上や災害ボランティアの育成等に尽力している。震災がつなぐ全国ネットワーク代表、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議幹事、その他、国や地方公共団体の各種検討会委員も歴任。



野尻智周 特定非営利活動法人ぎふNPOセンター事務局長

NPO法人森のなりわい研究所副代表理事、一般社団法人Nancy理事などのほか、複数のボランティア団体の運営に携わる。2005年の愛・地球博では地球市民村小パビリオン「森のいろいろ館」でコーディネーターを務める。2007年より岐阜市の中間支援センター勤務を経て、2017年よりぎふNPOセンターに入職。同年9月から事務局長。「人づくり」を進めて「まちづくり」につなげるため、日々奮闘中。

主体的に活動できる防災人材の育成

大学

地域防災リーダー実践I, II

それぞれ半期のPBL(Project Based Learning)型講義。2018年度は「大学の防災訓練の改善」をテーマに大学当局と連携して訓練企画の提案および実施支援を行う。受講生（履修登録外含む）は半期10名ほど

地域

げんさい未来塾

スーパーバイザーの指導の下、自ら提案した防災に係わる実践計画および防災研修などでのOJTに1年間取り組む。スーパーバイザーはセンターコーディネーター3名、兼任教員2名、特任准教授1名

防災リーダー育成講座（基礎編） （大学での科目名：地域防災リーダー基礎）

週1日、計4日間の集中講義。災害発生メカニズムや防災対策、防災ワークショップなどについて広く浅く学び、防災活動を始めるための基礎的なことから知る。座学とグループワーク。夏と秋に2回開講、それぞれ定員100名（うち20名が大学生枠）。防災士の受験資格が得られる。

全学共通教育科目

全学共通教育科目：地域防災リーダー基礎

・講義概要

- ・ 2015年度より開講（全学共通教育科目としては2016年度より開講）
- ・ 一般向け講座「防災リーダー育成講座（基礎編）」と同時開催
- ・ 年2回開催（前期：夏休みの平日，後期：11～12月の日曜）
- ・ 定員は各回100名（うち15名が岐阜大学学生枠，5名がネットワーク大学コンソーシアム岐阜を通じて受け入れる枠）
- ・ 防災減災の基本的知識とスキルの獲得を目指し，座学とグループワークによる講義を行う
- ・ 所定の基準を満たした人は，防災士の受験資格が得られる

・到達目標

- ・ 基礎的な災害関連事象，防災・減災知識を身につける．基礎的な防災・減災技術を身につける．基礎的な防災・減災のためのワークショップ手法を身につける．

地域防災リーダー基礎

- 防災活動に関わっていくに当たって「最低限知っておくべき知識や心がまえの習得」を目的とする
- 講義は、社会人・学生が一緒に受講
- 午前が座学で午後はグループワーク
- 2020はオンライン開催

令和2年度 清流の国ぎふ防災リーダー育成講座(基礎編) カリキュラム <講義内容>				
	第1日目	第2日目	第3日目	第4日目
①平日	9月19日(水)	9月26日(水)	9月28日(水)	9月30日(金)
②日曜	11月9日(日)	11月16日(日)	11月22日(日)	11月29日(日)
会場				
1 講義	防災リーダーに期待される活動 地域の防災リーダーとしての心構え、期待される役割などについて学ぶ 【講師】 渡井 慶次: 平日コース (岐阜大学非常勤講師) 伊藤三統子 or 菅堂 舞: 日曜コース (清流の国ぎふ 防災・減災センターコーディネーター)	地震・津波による災害 地震の特長について理解を深め、地震災害をもたらす被害とその対策について学ぶ 【講師】 久慈 滋亮 (岐阜大学地域圏科学研究センター准教授)	行政の災害救助・応急対応 行政の平時の防災対策(法律・計画)と災害時の対応について学ぶ 【講師】 上野文也 (岐阜大学教育学部准教授)	災害時のメンタルケア 被災者がかかえる健康問題と被災者支援を行な際の留意点について学ぶ 【講師】 野馬 翠 (岐阜大学医学部精神病学臨床講師)
2 講義	気象災害・風水害 気候変動と社会変動を除き災害を考える 【講師】 原田 先生 (岐阜大学地域圏科学研究センター准教授)	ライフライン・交通インフラの確保 災害に対するライフライン事業者の対応と利用者としての備えについて学ぶ 【講師】 島島 暢昌 (岐阜大学工学部教授)	復旧・復興と被災者支援 災害ケースマネジメントなど 【講師】 外郎 謙郎 (津久井 進) (芦屋市宮市長法律事務所)	災害ボランティア活動 防災ボランティアについて理解を深め、自主防災組織と連携した取組について学ぶ 【講師】 栗田 暢之 (特定非営利活動法人レスキューストックヤード 代表理事)
3 講義	災害関連情報と予報・警報 岐阜県の気象の特長、風水害及び土砂災害をもたらす気象現象などについて学ぶ 【講師】 気象庁岐阜地方気象台	企業・団体の事業継続 企業・団体の事業継続計画(BCP)の重要性と、その作り方、考え方について学ぶ 【講師】 安藤 一男 (BOMマネジメントサポートセンター代表)	災害地帯支援者対策 避難行動や避難所生活において精神的支援が必要な要配慮者について理解を深め、支援の方法を学ぶ 【講師】 小井 和成 (岐阜大学看護学教授)	平常時の防災活動 地域の防災活動の深掘りと平常時からできること、平常時だからこそやるべき事について学ぶ 【講師】 高木 朋樹 (岐阜大学工学部教授)
4 講義	被害想定・ハザードマップと避難行動 ハザードマップから地域に潜む危険を認識し、被害軽減に役立つ方法を考える 【講師】 (4~6期) 村岡 浩道 (岐阜大学地域圏科学研究センター特任准教授)	地域で使える防災啓発メニュー 家具固定などの具体的な方法 【講師】 (4~6期) 野田中	地域防災と多様性への配慮 本講座で修得した知識を地域の防災に活かすために 【講師】 (4~6期) 小山 真紀 (岐阜大学地域圏科学研究センター准教授)	本講座で地域防災に活かすために 本講座で修得した知識を地域の防災に活かす方法を各グループで考え、実践できるようにする 【講師】 井坂 徳成 (岐阜大学非常勤講師) 小山 真紀 (岐阜大学地域圏科学研究センター准教授) 村岡 浩道 (岐阜大学地域圏科学研究センター特任准教授)
5 講義	修習集中			
6 講義	修習集中			



地域防災リーダー実践I, II

• 講義概要

- 2016年度より開講
- 前期，後期共に開講
- PBL(Project Based Learning) 型講義
 - 2016年度から2018年度までのプロジェクトは，「大学の防災訓練の改善」大学に防災訓練の企画を提案（大学祭でのスモーク・VR体験，避難訓練前のe-learningや避難訓練時のカード配布，サークルなどを対象とした避難所運営ゲーム）し，実施についても大学本部と協働
 - 2019年度のプロジェクトは，「岐阜大学の避難所開設のためのキットづくり」

• 到達目標

- チームによる互学互習を通じて各自が主体的に問題発見，問題解決，実践する力を身につける。
- プロジェクトの遂行を通じて防災・減災に係わる課題の拡がりや本質について考えるための視点を身につける。

地域社会と災害

• 講義概要

- 2018年度より開講
- 後期水曜日2限
- 災害を起こすような自然現象（台風や地震など）は、どんなに大きくても、人がいないところで発生した場合には災害とは呼ばない。つまり、災害とは人間社会を前提とした概念なのである。本講義では、「災害」について、自然現象そのものと、それが人間社会の元に影響をおよぼしたとき何が起きるのかという2つの側面から考える事で、災害の本質について考える事をねらいとしている。

• 到達目標

- 災害を生じさせるような自然現象について基本的な知識を身につける。災害から見た地域社会は、どのような特徴を持っているのか、災害に対する粘り強さ、脆弱性とはいったいどういうことなのかという疑問を通じて、問題構造について主体的に考察する力、解決に向けた企画立案のための基礎的な力を身につける

地域社会と災害：2019年度内容

- 10/2 1 オリエンテーション，自然現象と人間社会と災害：小山真紀
- 10/9 2 高齢化と地域（看護系）：瀬瀬朋弥
- 10/16 3 多様性と地域（障碍・外国人など）：小山真紀
- 10/23 4 日本の地域社会（地域経営）：高木朗義
- 10/30 5 土砂災害と地域社会：沢田和秀
- 11/13 6 地震災害と地域社会：能島暢呂
- 11/20 7 風水害と地域社会：原田守啓
- 11/27 8 社会変動と災害（議論）原田守啓
- 12/4 9 災害支援（行政・中間支援組織・地域の連携）：RSY栗田暢之
- 12/11 10 災害心理学（行動心理学，社会心理学を中心として，防災行動を実現するための心理学）：板倉憲政
- 12/18 11 自然災害—政府や地方の役割：上野友也
- 1/8 12 災害リスクの低減に向けて（議論）：小山真紀
- 1/15 13 災害リスクの低減に向けて（議論）：小山真紀
- 1/22 14 災害リスクの低減に向けて（議論）：小山真紀
- 1/29 15 災害リスクの低減に向けて（議論）：小山真紀

一般向け防災人材育成

地域防災リーダーのメタルーブリック

新: 防災リーダー育成講座(入門編)

旧: 防災リーダー育成講座(基礎編)

げんさい未来塾

新: 防災リーダー育成講座(実践編)
スキル

	レベル1	レベル2	レベル3
	良きフォロワー	マニュアルがあれば動ける	自分で考えて動ける
	<div style="border: 1px solid blue; padding: 2px;"> 防災知識をもち、主体的に行動できる </div>	防災減災活動の基本的なスキルを持っている	防災減災活動の応用的なスキルを持っている
人材育成	防災知識を他者に伝える事ができる	防災減災活動を行う人を育てることができる	人材育成のためのプログラムの開発ができる
ネットワーク	顔の見える関係を構築できる	関連する組織と組織、人と人をつなぐことができる	関連する組織や人と協働して活動する事ができる
企画・立案・実践	条件(シナリオ)を与えられればできる	条件(シナリオ)を与えられなくてもできる	平時から災害時までを通じた防災減災対策の企画・立案・実践ができる



平日	8月23日(月) 日曜:11/14	9月6日(月) 日曜:11/26
会場	岐阜大学 全学共通教育講義棟 多目的ホール	
9:00~9:10	オリエンテーション	
1限 9:10 5 10:10	防災リーダーに期待される活動 地域の防災リーダーとしての心構え、期待される役割などについて学ぶ 【講師】 平日:岩井慶次(岐阜大学非常勤講師) 日曜:伊藤三枝子(清流の国ぎふ女性防災士会)	ライフライン・交通インフラの確保 災害に対するライフライン事業者の対応と利用者としての備えについて学ぶ 【講師】 能島暢呂(岐阜大学工学部教授)
2限 10:20 5 11:20	気象災害・風水害 気候変動と社会変動を踏まえて災害を考える 【講師】 原田守啓(岐阜大学流域圏科学研究センター准教授)	災害時要支援者対策 避難行動、避難所生活等において福祉的支援が必要な要配慮者について理解を深め、支援の方法を学ぶ 【講師】 小林和成(岐阜大学看護学科准教授)
3限 11:30 5 12:30	災害に関する情報の入手と利用 演習を通じて、各種情報の特徴を学び防災活動や安全確保への活用を考える 【講師】 村岡治道(岐阜大学地域減災研究センター特任准教授)	復旧・復興と被災者支援 被災者支援(災害ケースマネジメントなど)について学ぶ 【講師】 平日:岡本正(東京弘和法律事務所) 休日:津久井進(芦屋西宮市民法律事務所)
4限 13:30 5 14:30	地震・津波による災害 地震の特徴について理解を深め、地震災害がもたらす被害とその対策について学ぶ 【講師】 久世益亮(岐阜大学流域圏科学研究センター准教授)	災害時のメンタルケア 被災者がかかえる健康問題と被災者支援を行なう際の留意点について学ぶ 【講師】 深尾琢(岐阜大学医学部精神病学臨床講師)
5限 14:40 5 15:40	行政の災害救助・応急対応 行政の平時の防災対策(法律・計画)と災害時の対応について学ぶ 【講師】 平日:荒木裕子(名古屋大学特任准教授) 日曜:上野友也(岐阜大学教育学部准教授)	災害ボランティア活動 防災ボランティアについて理解を深め、自主防災組織と連携した取組について学ぶ 【講師】 栗田暢之(特定非営利活動法人レスキューネットワーク代表理事・岐阜大学非常勤講師)
6限 15:50 5 16:50	企業・団体の事業継続 企業・団体の事業継続計画(BCP)の重要性と、その作り方、考え方について学ぶ 【講師】 安藤一男(BCマネジメントサポートセンター代表)	自主防災活動と地区防災計画 演習を通じて、当講座で学んだことを地域の防災活動にどのように繋げていくかを学ぶ 【講師】 高木朗義(岐阜大学社会システム経営学環教授)

防災リーダー育成講座(入門編)

防災リーダー育成講座(実践編)

日時：8月26日(木) 9:30~11:40	日曜:11/21
教室：岐阜大学工学部101番教室	
題目：地震を想定した自宅の危険チェックと対策 概要：家具転倒対策の普及のための方法や、家具転倒対策の注意点を学ぶ 講師：村岡治道（岐阜大学特任准教授）	
日時：8月26日(木) 13:00~15:10	日曜:11/21
教室：岐阜大学工学部102番教室	
題目：住民が取り組む避難所立ち上げの手順 概要：住民による避難所立ち上げを円滑に行うために、地域で取り組むことができる事前の備えを学ぶ 講師：村岡治道（岐阜大学特任准教授）	
日時：8月26日(木) 15:50~18:00	日曜:11/21
教室：岐阜大学工学部101番教室	
題目：大雨を想定したわが家の避難計画 概要：大雨に対する「早めの避難」を地域で普及させるための方法や「早めの避難」を成功させるためのポイントを、「災害・避難カード」の作成を通して学ぶ 講師：村岡治道（岐阜大学特任准教授）	
日時：9月16日(木) 9:00~17:00 (適宜な休憩, 昼食休息あり)	日曜:12/12
教室：オンライン(zoom)	
題目：地域の防災活動と活動計画の作成手法 概要：実効性のある地域の防災活動の計画を自ら作成することを目的として、実際に地域で活動している人から活動事例を学ぶ 講師：高木朗義（岐阜大学教授）・小山真紀（岐阜大学准教授）	

げんさい楽座

• ねらい

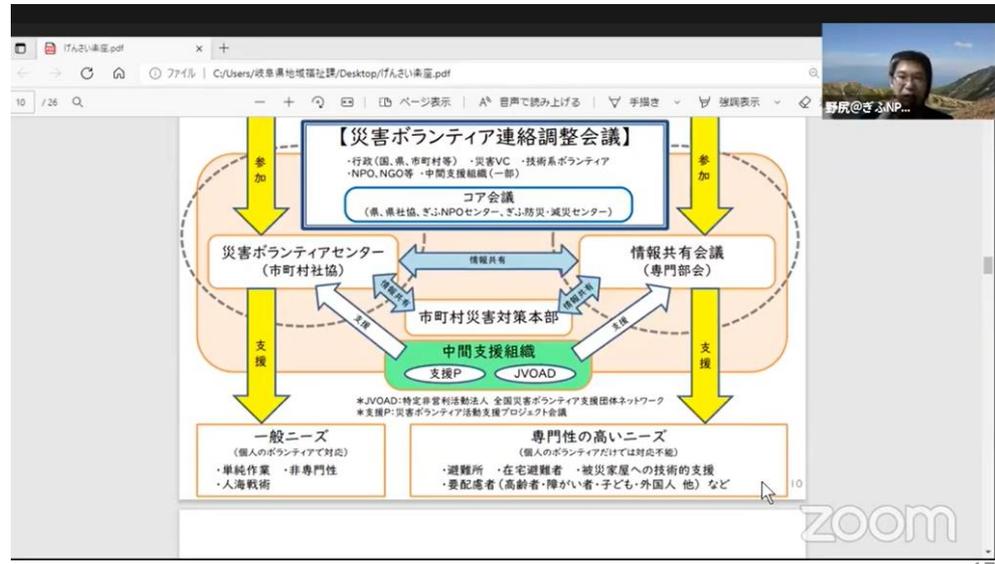
- 参加者が相互に理解を深めることでお互いに顔の見えるネットワークづくりと災害に強い地域社会を創り出すこと

• 開催概要

- 原則として**毎月最終月曜日の19:00~20:30**に開催（ただし変更もあり）
- 原則として2部構成。最初の45分を防災に関するトピックスや話題提供など、後半の45分はグループワークや意見交換など。
- 12回（1年）の開催のうち、飛騨地域、東濃地域、中濃地域、西濃地域で1回ずつ（計4回）開催し、残りの8回を岐阜大学のサテライトキャンパス（岐阜駅前）で開催。コロナ禍の現在はfacebook liveでオンライン開催。



げんさい楽座



げんさい未来塾

- 地域防災・減災について**主体的に担うことのできる人材**を、実際の地域防災・減災の現場における実践を通じて育成する、社会人向け通年プログラム
- 防災リーダー育成講座（入門編）修了者あるいは同等の講座の修了生を対象（一通り、防災に関する基本的なことを学んだことがある人を対象とする）
- 各自が持っている防災に関する課題あるいは清流の国ぎふ 防災・減災センターが提案する防災課題について、実践計画を作成し、応募。実践計画の審査を経て入塾が認められる
- それぞれの防災課題について、スーパーバイザー（教員3名、コーディネーター5名）がマンツーマンに近い形で指導助言を行う。2016年度は9名、2017年度は4名、2018年度は9名、2019年度は9名が卒塾、2020年度は4名が卒塾、2021年度は10名が在塾

地域防災リーダーのメタルーブリック

げんさい未来塾



	レベル1	レベル2	レベル3
	良きフォロワー	マニュアルがあれば動ける	自分で考えて動ける
スキル	防災知識をもち、主体的に行動できる	防災減災活動の基本的なスキルを持っている	防災減災活動の応用的なスキルを持っている
人材育成	防災知識を他者に伝える事ができる	防災減災活動を行う人を育てることができる	人材育成のためのプログラムの開発ができる
ネットワーク	顔の見える関係を構築できる	関連する組織と組織、人と人をつなぐことができる	関連する組織や人と協働して活動する事ができる
企画・立案・実践	条件(シナリオ)を与えられればできる	条件(シナリオ)を与えられなくてもできる	平時から災害時までを通じた防災減災対策の企画・立案・実践が出来る

げんさい未来塾の受講生

- 地域の防災計画（地区防災計画）を作りたい人
- 地域の防災活動の支援を行いたい人
- 地域の防災啓発を行いたい人
- 業務や役割などに関係して解決したい防災課題がある人



げんさい未来塾のカリキュラム

• OJT

- センター関係教員，コーディネーターが係わる，多様な実践，研修に陪席，サポートスタッフとして関わる事で，その内容や，運営手法などを学ぶ。
 - 防災減災センター主催のもの（げんさい楽座，防災リーダー育成講座，DIG，HUGなど）
 - 教員，コーディネーターが係わるもの（各教員，コーディネーターよりそれぞれ案内）

• 実践計画

- それぞれの実践計画を，スーパーバイザーの助言を受けながら実施する。実践計画の遂行を通じて，関連知識の獲得，多様なセクターとの顔の見える関係や協働のための地ならしをする

げんさい未来塾のカリキュラム

・ニーズに応じた研修

・コミュニケーション力向上研修

- ・自分が行いたいことを人が理解し、共感してくれるように「正しく、感じよく、わかりやすく」話す力と、同時に、人とよりよい人間関係を築くための「聴く」力を強化する
- ・応募時に提出した実践計画を題材として扱い、できるだけ的を絞って、明確で具体的な実践計画になるよう修正しながら、それを人に伝える練習を行う

・プレゼンテーション研修

- ・パワーポイントを使って活動内容や計画を説明する際に気をつけるべき点や効果的なスライドの作り方、またプレゼンでの上手な話し方を学ぶ

・ファシリテーション研修

- ・ワークショップ、講演後のディスカッション、団体の会合等、グループでの対話の場を円滑で生産的に進行するファシリテーションスキルの基礎を学ぶ

・その他研修など

- ・塾生のニーズと実現性を考慮して、必要に応じた研修を開催する

OJTで身につけられること

• 知識・スキル

- 研修に参加することで知識のアップデートができる。講師補助を行う事で、関連するスキルを身につけることができる

• 人材育成

- 研修を通じて、研修の進行や話し方などを学ぶ事ができる。講師補助を通じて、自らが講師になっていくためのスキルを身につけることができる

• ネットワーク

- 受付や進行補助を行う事で、参加者（今後地域活動を行っていく人）や主催者（地域の行政，学校，自治会など）と顔の見える関係づくりができる

• 企画立案実践

- 運営を手伝うことで、自分が運営する時にどんな準備が必要か，どのように動けばよいかなどを学ぶことができる

OJT活動



中間報告会



塾生の実践計画のテーマ例

- 命を守る訓練の改善，学校の安全点検，安全安心マップの取り組みなどを，活用した学校防災の改善策の提案を行う
- 地域防災において，女性の声が多く届くよう「女性防災士」の意識・スキルの向上を図る活動に参画し、その内容の充実に寄与し，その存在をアピールするリーダーになるためのスキルを身に付ける
- 地区への避難所運営委員会の設置（地区防災計画の導入）
- 自主防災組織，「かわべ防災の会」の発足に伴い，川辺町の防災面の課題や脆弱性の炙り出しを行い災害に強い地域づくりを進める
- 市民に防災・減災の啓発を拡大する
- ペットの防災
- 幼稚園，保育園，小学校，地域でできる防災・減災活動のベストプラクティス集の作成を通じて，実際の幼稚園，保育園，小学校，地域での活動の提案と協働を行う

げんさい未来塾塾生のバックグラウンド

- 自治会の自主防災会
- 自治会以外の防災会（防災研究会，防災士の会など）
- 小学校教諭，中学校教諭，高等学校教諭
- 行政職員
- ペット関係業種の方
- 乳幼児とその親御さん向けの業種の方
- 高齢者福祉施設などにお勤めの方
- 消防職員OB
- 民間企業などに勤務されている方
- 旅館経営者
- など

げんさい未来塾修了後のフォローアップ

- 塾生の居住（あるいは勤務する）市町村へ、防災活動を担当できる人材として活用いただくよう依頼（ただし、実際に依頼があるかどうかは市町村による）
- 市町村で開催される防災タウンミーティングにおいて、運営・講師としての登壇を推進
- センターにおける講座・研修において、講師としての参加機会を提供（本人の到達スキルによる）
- スキルアップにつながるような、関係する研修やイベントなどの情報提供
- センター主催の研修や講座や、スーパーバイザーが関わる講義、研修、講座などにおいて、引き続きOJTとして参加機会を提供
- センターへの講座や研修講師の依頼があった場合、本人の居住地やスキルがマッチする場合に、推薦する
- 塾生同士の交流の場の提供

げんさい未来塾の効果

- 防災リーダー育成講座（基礎編）のお昼休みやげんさい楽座の開催前の時間などに、それぞれが自分が行っている講座をやってみたり、企画を行うなど、活動の場の一環となっている
- 塾生それぞれのテーマが異なっているため、それぞれの活動フィールドに別の塾生を講師として呼びあうなど、相互に活動の場を提供できるようになってきている
- 活動の場が増える事で、スキルも上がり、塾生ネットワーク以外からも講師依頼が来るようになって来ている
- 平成30年7月豪雨の時も、被災地の塾生から他の塾生に情報提供があったり、塾生ネットワークで支援活動を行うなどの活動が見られた
- 自治会の自主防災会あるいは自治会以外の防災会のメンバーの場合は、行政との連携が進んでいる
- 卒塾生主催の「げんさい楽座スピンオフ」としていろんな企画が開催されはじめている

げんさい未来塾の特徴

- げんさい未来塾に向いているのはこんな人
 - 自分が大事にしたい防災課題が明確な人に適しています
 - 防災活動の仲間を作りたいという人に適しています
 - 自ら進んで学べる人に適しています
- げんさい未来塾で大事にしていること
 - 頑張る人を応援する（あくまでも主体は塾生）
 - やりたい気持ちをできるだけ実現できるようサポートする（具体化に向けては、一緒に議論して実現できる形を探る）
 - 学び，ネットワークづくり，活動の場を提供する
 - センター外のイベントなどの情報も提供する（名古屋大学の強靱化共創センターのイベントや，JVOADなどが係わっている連携イベントなど）

各地域で活動しているげんさい未来塾卒塾生です

げんさい未来塾卒塾生活動リスト

岐阜県内で活動する“げんさい未来塾卒塾生”とその活動を紹介します。

地域や学校などでの防災活動を行う際に、

是非お声かけ
下さい！

本リストに掲載されている方については、地域での活動相談や連携などウエルカムですので、もちろんお話ししたい！というだけでもOKです。

※掲載希望者のみのリストであり、げんさい未来塾卒塾生全員が含まれているわけではありません

清流の国ぎふ 防災・減災センター（以下「センター」）は、岐阜県と岐阜大学によって共同設立されたセンターです。センターの目的は地域防災力の強化に向けた人材の育成・連携、普及啓発事業の実施、技術支援および調査研究であり、「清流の国ぎふ防災リーダー育成講座（基礎編）」をはじめとした、地域で防災・減災を主体的に担う事の出来る人材の育成に向けた研修プログラムを提供を行っています。

げんさい未来塾は「清流の国ぎふ防災リーダー育成講座（基礎編）」のステップアップ研修的な位置づけとなっており、地域防災・減災について主体的に担うことのできる人材を、実際の地域防災・減災の現場における実践を通じて育成するプログラムです。平成28年度より育成を始め、30名を超える人材が卒業して県内で活動しています

